

『時事直言』 No.1459 2021年2月16日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

菅政権は「存在することに意義がある」

どんな政権でも明確な国家の指針が無くてはならない。

菅総理は日本丸の船長なのだから、先ず船員(国民)に「行き先」(指針)を明確に示さなくてはならない。

菅総理が就任直後に言ったことは「安倍内閣を継承する」であった。

ならば安倍内閣の指針を示さなくてはならない。

安倍内閣時の重要ポスト(財務大臣など)を継承したからと言って安倍内閣を継承したことにはならない。

トランプは対中貿易赤字を減らす為に対中制裁関税やファーウェイを締め付け、又台湾に官僚を送り込んで「一つの中国」の原則を無視するような戦略を打ち出して国民感情を対中敵視に誘導した。

結果はアメリカの対中貿易赤字は減るところか増えた。

台湾支援で中国に圧力を加えるが、ウイグル等人権問題は事実上放置。

バイデン内閣のほとんどの閣僚はオバマ政権から移動したも同然。

しかしバイデンはオバマ政権の安全保障担当大統領補佐官スーザン・ライスが何度も訪中して進めた米中二か国によるアジア・太平洋安全秩序(B2)に関心はない。

トランプと異なり、ウイグル問題は元より台湾の安全、香港の民主化等人権・民主主義問題で中国を攻めている。

アメリカは一国で中国と渡り合えないことが分かっているから、同盟国と共同で戦う方針を決めていて日本への期待が一番大きい。

安倍総理は 2017 年中国で「日本は対一路に全面的に協力する」と対中指針を明らかにし、今日まで両国の財界交流が盛んに行われている。

新型コロナが無ければ昨年 4 月には習近平国家主席が国賓として日本訪問の予定であった。

菅内閣が安倍内閣を継承するならバイデンのアジア・太平洋外交指針と正反対の指針となるが軌道修正するのかしないのか。

それとも憲法第 9 条で、掛け声だけの自主防衛の日本はアメリカと中国を天秤にかけようとも言うのか。

「これじゃ、どうしようもない」と言っても誰か他に日本丸の船長はいるのか。

国会はと言えば、飽きもせず桜の会の食事代やホテル代を安倍晋三が払ったのは違法だなどと騒いでいる。

「安倍さんの奢りだよ」でいいじゃないのか。

トランプは演技派で奥が浅いが、バイデンはしたたかで冷酷である。

中国によく根回した上で台湾鼻眞で反中の派閥の長にでも総理をやってもらってはどうか。

形だけバイデン好みにしておけば直ぐに 4 年が過ぎる。

2024 年には又トランプになるかも知れないから、「話はそれからだ」と思うが。

久し振りに国内政治のお話をしてしまいました。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。